

# 平成30(2018)年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業 地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書

団体名

美波町

(都道府県:徳島県)

## 1. 当該地域の情報 (2019年2月現在)

地域の課題	平成29年5月より、試行的に日本語教室を開始してほぼ2年が経過した。参加者は多くはないが、週1回のペースで開催中である。今後は、町に居住する外国人が気軽に集まることのできる場所を確保し、そこを地域のひととの交流の場とすることを目標とし、多文化共生のイベントを定着させながら、海部郡内に活動を広げていくことが課題である。
在住外国人数 外国人比率	0.84%(総人口 6,756人 うち 外国人人口 57人)
在留外国人の 状況	【主な国籍と人数】①ベトナム(23人) ②インドネシア(15人) ③中国(9人) ④アメリカ(4人) ⑤フランス(3人) ⑥フィリピン(2人) ⑦台湾人(1人) 【在留資格】①技能実習生(32人) ②永住者14人 ③経済連携協定(介護士及び候補生)(7人) ④ALT他(4人) 【滞在年数・在留期間などの状況】技能実習生は、3年間。経済連携協定の介護士は、4年で国家資格の資格を取り、その後帰国又は継続し滞るか選択。
在住外国人の 日本語教育の現状	①技能実習生については、研修機関で基礎的な日本語の研修を事前に受け派遣されているが、美波町へ来町してからは日本語学習等の場はなく、職場において先輩から後輩へ必要な日本語を伝える形で日本語を学んでいた。昨年度より本事業により開設した日本語教室には、3つの企業からの学習者の参加がある。 ③の介護士については、企業が試験対策として専門の日本語講師をつけているので、多文化共生イベントへの参加を呼びかけている。時間がある際は、日本語教室にも顔を出してくれる。 ②、④の永住者及びALT他の方については、日常生活に困らない日本語をすでに身に付けているので、都度ニーズがあれば日本語教室等への参加を促している。現在、ALTが3名、日本語教室へ参加し学習している。

## 2. 事業の内容

本プログラム取組年数	3年目
事業の目的	多文化共生のまちづくり ① 日本語教室の運営 ② おしゃべりカフェの開設 ③ 地域に根差した「やさしい日本語」による異文化交流のイベントの開催
事業の概要	① 日本語教室・おしゃべりカフェ 日本語教室を継続し、生活する外国人のニーズに応じて日本語学習の支援を行った。新事務所を美波町医療保健センター横に整備し、在住外国人が気軽に集まったり、地域のひとと交流ができる場所にすることができた。 ② 交流イベント 日本語教室が居住外国人の地域社会との接点となり、また地域住民に受け入れる心を促す多文化共生イベントを企画し、ハーモニーをはじめ地域住民ボランティアの協力を得て実施した。イベントは、地域に居住する外国人と日本人の交流を目的に開催し、9月には日本語教育学会(四国支部)と連携し、本事業のアドバイザーである西原鈴子氏による講演会を実施し、本事業についての周知を目的に事業報告等も行うことができた。 ③ 人材の育成 三隅SCを講師として、徳島大学にて「多文化共生のまちづくり」を本事業の一環として行い、本事業を県内に広めた県内での協力者を得るために実施した。講座の中で7月には財部アドバイザーを招聘して日本語ボランティア養成講座を行った。適宜、ZOOMで松岡アドバイザーや「ハーモニー」「ともに」のメンバーとの会議を実施し、多文化共生や日本語教育について学び、日本語ボランティアの人材を育成を行うことができた。 ④ 事業のまとめとこれから 3月に事業のまとめとして、事業報告会を行い、来年度4月中には3年間の事業成果をまとめた報告書を作成する予定にしている。本事業終了後の日本語教室の継続運営やハーモニー運営の継続のために予算の相談を現在行っている。 ⑤ 美波多文化共生ネットワーク「ハーモニー」 本事業において、設立された日本語ボランティア団体。日本語教室の運営をはじめ、「やさしい日本語」による多文化共生イベントの実施等により生活する外国人と地域住民らをつなぐ役割を担っている。 ⑥ その他 昨年度より同事業を開始した同県つるぎ町との連携をとり、情報交換等協力しながら本事業を展開し、今後海部郡内(牟岐町・海陽町)へ日本語教育及び多文化共生のまちづくり活動を広げる。
事業の対象期間	平成30年4月～平成31(2019)年3月

<p>前年度の実績 (2年目以降の 団体のみ記載)</p>	<p>1 一昨年5月より試行的に日本語教室を開設し、開催形式等を変更しながら継続。現在、毎週1回美波町立日和佐公民館にて開催中。 2 多文化共生を目指すイベントの開催(4月、5月、7月、10月、11月、12月、2月) 3 広域的に事前告知をし、地域住民等も参加した「やさしい日本語」講演会(松岡A講演)を実施。 4 徳島大学三隅SCによる「多文化共生のまちづくり」講座への参加</p>			
<p>担当コーディネーター</p>	<p>氏名</p>	<p>所属</p>	<p>職名</p>	<p>担当する役割</p>
	<p>川西 永悦</p>	<p>美波町政策推進課</p>	<p>事務主任</p>	<p>システムコーディネーター</p>
	<p>Gehrtz 三隅 友子</p>	<p>徳島大学教養教育院</p>	<p>教授</p>	<p>システムコーディネーター</p>
<p>担当アドバイザー</p>	<p>氏名</p>	<p>所属</p>	<p>職名</p>	<p>継続・新規の別</p>
	<p>西原 鈴子</p>	<p>特定非営利活動法人 日本語教育研究所</p>	<p>理事</p>	<p>継続(3年目)</p>
	<p>松岡 洋子</p>	<p>岩手大学</p>	<p>教授</p>	<p>継続(3年目)</p>

### 3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

#### (1) 地域における日本語教育の実施に向けた検討体制

検討体制		
	<p>美波町政策推進課が事務局となり、徳島県南部における日本語教育の拠点となる日本語教室及び支援団体の設置を検討したい。徳島県南部総合県民局及び国際戦略課と連携し、県内の他地域の先進事例などを参考に、情報共有を図りながら、日本語教育の知見を有する県国際交流協会の専門家からの助言も得ながら進めたい。実際の運営体制としては、日本語教育学会の連携図を参考に、システムコーディネーターである徳島大学・教授の三隅友子氏を中心として、美波町・日本語コーディネーター・ボランティアが中心となって進めていく計画である。また、人的リソースとしては、将来の地域を担う高校生の理解・協力も得ながら進めていきたい。</p>	
所属(担当課)	担当者名	職名
美波町政策推進課	岸本 博志	課長(担当主管課長)
	川西 永悦	事務主任(担当)
徳島県南部総合県民局地域創生部(美波)	中西 俊文	課長
徳島県商工労働観光部国際戦略課	宮本 絢	主任主事
徳島県国際交流協会	野水 祥子	シニア国際交流・協力コーディネーター
徳島大学教養教育院	Gehrtz 三隅 友子	教授
多文化共生ネットワーク「ハーモニー」	遊亀 美枝	代表

#### (2) 日本語教室の実施に向けた事業運営体制図

地域の機関・団体との連携体制			
	<p>日本語教室を実施するに当たり、公民館活動の一つとして美波町教育委員会及び各自自治体の教育機関の連携・協力を得ながら定期的に美波町で日本語教室を行っていく。町内小学校及び中学校と連携して、多文化共生イベントへの児童生徒の参加や学校の総合学習(国際理解)への居住外国人の参加、地域コーディネーターの支援を計画している。「多文化共生まちづくり・としま異文化キャラバン隊(徳島大学を中心とした高等養育機関及び高校によって構成される)」の美波町での多文化共生のイベント実績から、観光関連の団体(観光ボランティアガイド会、発心の会、日和佐まちおこし隊)との連携をさらに計画している。</p>		
組織・団体・機関名	担当部局	職名	担当者名
美波町教育委員会	教育委員会	学校教育課長	山本 浩一
	日和佐公民館	社会教育課長	坂本 理
美波町観光ボランティアガイド会		会長	井上 勢一郎
日和佐まちおこし隊		代表	中東 覚
発心の会		会長	江本 友昭
徳島文理大学	国際交流グループ	講師	永本 智富
徳島大学	教養教育院	教授	Gehrtz三隅友子
徳島県立図書館/徳島市立高校	企画振興課	係長	生駒 佳也

#### 4. 具体的な取組内容

##### (1) 年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
2018年 4月	桜&古民家探検ツアー(さくら祭り・古民家探検) 春期日本語教室開始(4月～7月)	町行事「さくら祭り」に異文化交流イベントの実施(川西・遊亀) 日本語教室(遊亀)	
2018年 5月	春期徳島大学公開講座「多文化共生のまちづくり」開始(5月～7月) H30年度キックオフ会議	公開講座(三隅・遊亀) 会議の開催(三隅・川西・遊亀)	西原SA 松岡A
2018年 6月	海部郡内の在住外国人の実態(ニーズ)調査	調査(遊亀)	
2018年 7月	日和佐ウミガメ祭浴衣着付けイベント 日本語サポーター勉強会	ウミガメ祭りイベントの実施(遊亀) 勉強会の実施(三隅・遊亀)	財部A (つるぎ町連携)
2018年 8月	春期日本語教室の反省と秋期日本語教室の計画 多文化共生の地域づくり研修(JIAM)に参加	日本語教室の準備(遊亀) 研修に参加(遊亀)	
2018年 9月	秋期日本語教室開始(9月～12月) 美波町・つるぎ町 連携会議 日本語教育学会四国大会(西原A講演会)	日本語教室(遊亀) 連携会議(三隅・川西・遊亀) 日本語教育学会(三隅・川西・遊亀)	西原SA 松岡A
2018年 10月	秋期徳島大学公開講座「多文化共生のまちづくり」開始(10月～12月) 八幡神社秋祭り&町歩きイベント	公開講座(三隅・遊亀) 秋祭りイベントの開催(三隅・遊亀)	
2018年 11月	日和佐にこにこ人権フェスティバルにブースの出展&出演	フェスティバルに参加(三隅・川西・遊亀)	
2018年 12月	秋期日本語教室の反省と冬期日本語教室の計画	日本語教室の準備(遊亀)	
2019年 1月	「防災ワークショップ in 美波 パート3」の開催 冬期美波日本語教室(1月～3月)	防災ワークショップの開催(三隅・川西・遊亀) 日本語教室(遊亀)	
2019年 2月	スタートアップ事業のまとめⅠ(まとめの冊子の編集開始)	事業のまとめ(三隅・川西・遊亀) 文化庁への報告(川西・遊亀)	
2019年 3月	スタートアップ事業のまとめⅠ(まとめの冊子製本完成) スタートアップ事業のまとめⅡ(報告会) 冬期日本語教室の反省とH31春期日本語教室の計画	事業報告(三隅・川西・遊亀) 日本語教室の準備(遊亀)	西原SA 松岡A(zoom参加)

(2) 立ち上げた日本語教室の詳細

教室の名称	美波日本語教室						
外国人参加者について	[国籍] 中国8名 ベトナム3名 インドネシア3名 モンゴル2名 アメリカ3名 [属性] 技能実習生、ALT、ATPの介護士(候補生含む)、日本人の配偶者など			参加者数 (内 外国人数)	受講者2~12名 支援2~6名 (日本語指導者1名、 サポーター1~5名)		
開催時間数	総時間 58 時間			内訳 2 時間 × 29 回			
目標	1 学習者のニーズに合わせた楽しく達成感のある日本語学習の場にあること 2 日本語教室が外国人の安心できる居場所 & 多文化共生のまちづくりの拠点となること						
実施内容							
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	内容	授業概要	支援者数
1	2018年4月16日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	6	オリエンテーション	・春期学習プログラムの説明 ・春から連想する言葉 ・レベル別にニーズに合わせた日本語学習	コーディネーター1名 サポーター2名
2	2018年4月30日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	4	5月の日本の行事	・5月の日本の行事 ・絵本「しりとりの王様」 ・レベル別にニーズに合わせた日本語学習	コーディネーター1名 サポーター3名
3	2018年5月14日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	5	茶道体験	地域の茶道の先生を講師に日本の伝統文化「茶道」を体験	コーディネーター1名 サポーター2名 講師1名
4	2018年5月21日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	3	徳島のおいしいもの	・徳島のおいしい特産物についてチラシで話し合う ・タスク付食べ物すごろく ・レベル別にニーズに合わせた日本語学習	コーディネーター1名 サポーター2名
5	2018年5月28日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	3	セリフを考えよう	・イラストの吹き出しに入れるセリフを考えて発表 ・タスク付生き物すごろく ・レベル別にニーズに合わせた日本語学習	コーディネーター1名 サポーター2名
6	2018年6月4日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	3	6月の日本の行事	・6月の日本の行事 ・絵本「にゃーご」 ・レベル別にニーズに合わせた日本語学習	コーディネーター1名 サポーター2名
7	2018年6月11日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館赤松新発谷	4	ほたる狩り	・レベル別にニーズに合わせた日本語学習 ・地域の谷にドライブ ほたる狩り	コーディネーター1名 サポーター2名
8	2018年6月18日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	5	阿波踊り	・レベル別にニーズに合わせた日本語学習 ・地域の「うしお連」の練習を見学。阿波踊りに挑戦	コーディネーター1名 サポーター2名
9	2018年7月9日(月)	2	日和佐公民館	3	ウミガメ祭りの話	・ウミガメ祭りの話 ・スイスの旅のDVD 花クイズ ・レベル別にニーズに合わせた日本語学習	コーディネーター1名 サポーター2名
10	2018年7月23日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	1	夏休みの話	・夏休みの話 ・タスク付TOPIA初級すごろく ・事務所のオープンの話	コーディネーター1名 サポーター2名
11	2018年9月3日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	4	9月の日本の行事	・秋期学習プログラムの説明 ・9月の日本の行事 ・レベル別にニーズに合わせた日本語学習	コーディネーター1名 サポーター3名
12	2018年9月10日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	7	にこフェスのこと	・にこにこ人権フェスティバルへの参加について ・絵本「おおきなかぶ」 ・レベル別にニーズに合わせた日本語学習	コーディネーター1名 サポーター3名
13	2018年9月24日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	5	スリーヒントクイズ	・スリーヒントクイズに答える。作って出題する。 ・にこフェスの準備 ・レベル別にニーズに合わせた日本語学習	コーディネーター1名 サポーター3名

14	2018年10月1(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	8	10月の日本の行事	・10月の日本の行事 ・20の扉クイズ ・レベル別にニーズに合わせた日本語学習	コーディネーター1名 サポーター3名
15	2018年10月15日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	8	保健師さんの話	・町の保健師さんを講師に健康の話、健康相談、血圧チェックなど ・レベル別にニーズに合わせた日本語学習	コーディネーター1名 サポーター3名 講師1名
16	2018年10月29日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	7	11月の日本の行事	・11月の日本の行事 ・絵本「すてきな3人組」 にこフェスの準備 ・レベル別にニーズに合わせた日本語学習	コーディネーター1名 サポーター4名
17	2018年11月5日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	10	書道にチャレンジ	地域の書道の先生を講師に毛筆書道体験 ～私の好きな漢字～	コーディネーター1名 サポーター4名 講師1名
18	2018年11月12日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	2	すごろくゲーム	・タスク付すごろくゲーム ・レベル別にニーズに合わせた日本語学習	コーディネーター1名 サポーター3名
19	2018年11月19日(月) 19:00~21:00	2	永岡音楽教室	4	にこフェスの予行	・にこフェスの「上を向いて歩こう」の歌とダンスの確認 ・各国語の挨拶の紹介の練習	コーディネーター1名 サポーター3名 音楽講師1名
20	2018年11月26日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	5	ピクトグラムって何?	・ピクトグラムについての学習 ・初級と中級と中級に分かれてニーズに合わせた学習	コーディネーター1名 サポーター3名
21	2018年12月3日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	2	12月の日本の行事	・12月の日本の行事 ・トランプゲーム大会	コーディネーター1名 サポーター3名
22	2019年1月7日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	2	日本のお正月	・冬期教室の学習プログラム予定の説明 ・日本のお正月 ・タスク付食べ物すごろく ・「スパード」(カードゲーム)を教えてもらう	コーディネーター1名 サポーター3名
23	2019年1月14日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	5	阿波カルタ取り	・冬期教室の学習プログラム予定の説明(欠席者の為) ・阿波カルタ取り大会 ・レベル別にニーズに合わせた学習	コーディネーター1名 サポーター2名
24	2019年1月21日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	2	ゲーム大会	・タスク付TOPIA初級すごろく ・「大富豪」「スプーン取り」(日本のトランプゲームをする)	コーディネーター1名 サポーター2名
25	2019年2月11日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	4	野菜の話	・絵本「やさいのおなか」 ・パンフレットを見ながら野菜について話す ・レベル別にニーズの合わせた学習	コーディネーター1名 サポーター2名
26	2019年2月25日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	5	折り紙のおひな様	地域の折り紙が得意な方に講師をお願いして、「折り紙のおひな様」づくりに挑戦	コーディネーター1名 サポーター4名 講師1名
27	2019年3月4日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	3	3月の日本の行事	・3月の日本の行事 ・日本語教室への意見感想アンケート ・レベル別にニーズに合わせた日本語学習	コーディネーター1名 サポーター4名
28	2019年3月11日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	2	健康フローチャート	・健康フローチャートで自分の健康について考える ・レベル別にニーズに合わせた学日本語学習	コーディネーター1名 サポーター4名
29	2019年3月18日(月) 19:00~21:00	2	日和佐公民館	5	太極拳にチャレンジ	・レベル別にニーズに合わせた日本語学習 ・地域の太極拳の先生を講師に太極拳にチャレンジ	コーディネーター1名 サポーター4名 講師1名 見学1名

【主な活動】



第3回 6月18日「阿波踊り」  
地元の阿波踊りの「うしお蓮」の練習に参加。  
阿波踊りに初挑戦。



第15回 10月15日「健康についての話」  
美波町の保健師さんを講師に  
健康についての話や相談をした。



第17回 11月5日「書道にチャレンジ」  
毛筆書道の先生を講師に、基本の練習の後  
好きな漢字を選んで清書した。  
作品は人権フェスで展示。

## (3)その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
桜 & 古民家ツアー	2018年4月1日(日) 9:00~15:00	町内や県内の外国人に参加を呼びかけ、薬王寺の桜の花見と日和佐に残る古民家をゆっくり探索しながら大浜海岸まで歩くコースを楽しんでもらう。観光ガイドボランティアの皆さんの案内で6つの国別のグループに分かれて開催。「お茶席」に参加したり、ものづくり市の屋台店を見て回ったり、中学生や地域住民との交流を図る。(外国人23名、日本人7名、観光ガイド6名、ハーモニー6名、合計42名)
春期多文化共生の地域づくり講座	2018年5月~7月 全12回(三隅SC)	文化庁が進める「生活者としての外国人」のための日本語教育を実行に移すための講座。日本語でのコミュニケーションを見直し、地域で生活する学習者が日本語を学ぶための支援から始める。 ①5/1オリエンテーション ②5/8コミュニケーションの諸相 ③5/15インプロヴィゼーション ④5/22日本語を学ぶ・教える(1) ⑤5/29日本語を学ぶ・教える(2) ⑥6/5日本語を学ぶ・教える(3) ⑦6/12日本語を学ぶ・教える(4) ⑧6/19文化庁の日本語教育事業について ⑨7/1徳島県美術館にて留学生と美術鑑賞 ⑩7/3移民をめぐる言語政策(松岡アドバイザー) ⑪7/10地域と共につくる日本語教室(財部アドバイザー) ⑫7/17地域日本語教室の連携と体制づくり(財部アドバイザー) ※⑩⑪⑫はZOOMで実施
ウミガメ祭り浴衣着付けイベント	2018年7月14日(土) 16:00~22:00	町の夏祭り「ウミガメ祭り」に合わせて、在住外国人を対象に浴衣着付けイベントを開催。今年は、広く広報せず口コミだけにしたので、参加者は減ったが、「浴衣を着て、夜の祭りに繰り出したい」外国人の希望に沿うことができた。最後の花火まで一緒に楽しんだ。(外国人10名、ハーモニー6名、着付けサポート2名)
秋期多文化共生の地域づくり講座	2018年10月~12月 全9回(三隅SC)	文化庁が進める「生活者としての外国人」のための日本語教育事業を実行に移すための講座。日本語でのコミュニケーションを見直し、地域で生活する学習者が日本語を学ぶための支援から始める。①10/16オリエンテーション②10/23アサーティブ研修③10/30インプロヴィゼーション④11/6日本語を学ぶ・教える(学習者について)⑤11/13日本語を学ぶ・教える(教材について)⑥11/27日本語を学ぶ・教える(タスクとは)⑦12/4日本語を学ぶ・教える(プロジェクトワークとは)⑧12/4多文化共生のまちづくりの活動(1)⑨12/11PHD協会研修生ネパールのサピナさん講演⑩12/18多文化共生のまちづくりの活動(2) 美波町「つるぎ町」における日本語教育の現状と多文化共生のまちづくりの企画発表
「日和佐の魅力発見」町歩き	2018年10月6日(土) 11:00~16:00	日和佐八幡神社秋の大祭の前日、「ちょうさ(みこし)」が町を練り歩く日に合わせて、「日和佐の魅力発見」町歩きを開催した。徳大留学生を中心とした異文化キャラバン隊のメンバーが参加しての、町歩きは6年目になった。12月には秋祭り写真展も開催した。(留学生15名と在住外国人5名、キャラバン隊の高校生5名、観光ガイド6名、ハーモニー5名、引率他3名の合計41名)
小学校の国際理解の総合学習へ 出前授業	2018年10月15日(月) 10月29日(月) 1月12日(月) 各1時間 日和佐小学校 2019年3月6日(水) 1時間 由岐小学校	日和佐小学校の6年生の国際理解の総合学習で出前授業を行う。 ①美波町に住んでいる外国人の話 ②「やさしい日本語」の話 ③在住外国人の内モンゴル出身のイラガチさんから「モンゴルの国、文化の紹介」の3回の授業を行い、子ども達に多文化共生について考える機会を提供した。 美波町内のもう一つの由岐小学校でも卒業を間近に控えた6年生に美波町に住んでいる外国人のことや多文化共生のまちづくりのことを話すことができた。
ひわさ・にこにこ人権フェスティバルに 出展・出演	2018年11月23日(金) 9:00~15:00	美波町の日和佐地区で行われている「ひわさ・にこにこ人権フェスティバル」に今年も(3年連続)異文化交流のブースを出した。加えて、作品展に日本語教室の毛筆習字の作品を展示。にこにこタイムには、日本語教室の学習者とハーモニーの有志でステージに立ち、「上を向いて歩こう」の合唱を聞いてもらった。その前には、各国語の挨拶をみんなに紹介する時間も作った。ブースの展示もたくさんの方が見てくれた。(在住外国人6名、ハーモニー7名、フェスへの町民の参加者400余名)
第3回防災ワークショップin 美波	2019年1月27日(土) 9:00~13:00	在住外国人を対象にした防災ワークショップを今年も開催した。今回は、地域の自主防災会の人々が参加してくれて、在住外国人の住んでいる地域のことをいろいろ教えてくれて、顔つなぎもできたことが良かった。避難訓練も、タブレットを使ったバーチャル避難訓練というのをして好評だった。防災食の試食も少し品を変えながら例年のように行った。(在住外国人11名、自主防災会5名、ハーモニー4名、役場・大学5名、その他4名、合計29名)
春節パーティー	2019年2月3日(日) 11:00~14:00	日本語教室のベトナム人や中国人の学習者さんのために春節パーティーをすることになった。1人1品持ち寄りのポットラックパーティー。ベトナム、台湾、アメリカなど各国の料理が集まり、おしゃべりやゲームをしながら、楽しい時間を過ごすことができた。(在住外国人8名、日本人8名)

【主な活動】



## 5. 今年度事業全体について

進捗状況	概ね計画通りに進んでいる。
成果	日本語教室は、予定より早く29年度から試行的にはあるが、開始することができており、今年度は、週1回のペースで安定して開催している。日本語教室や多文化共生をめざすイベントにおいては、「美波多文化共生ネットワーク ハーモニー」のメンバー（現在17名）を中心に地域住民がサポーターとして活動している。今年度「ハーモニー事務所」がオープンしたことで、在住外国人が気軽に寄れる場所が確保でき、「おしゃべりカフェ」も開催できるようになった。外国人の相談の窓口としても機能し始めている。
地域の関係者との連携による効果	スタートアップ事業においては、徳島大学や県の国際交流協会、つるぎ町等との全県的な連携が有効であった。地域においても町役場とハーモニー、観光ガイドボランティアグループや町内小中諸学校などが、多文化共生をめざすイベントの開催や啓発活動で協力体制を組むことができた。日本語教室においては、特技を持つ地域の方を講師に招き、日本の伝統文化や工作、健康などいろいろなジャンルで活躍していただいた。郡内の他の2町でもサポーターを募り、ハーモニーや日本語教室の活動を広げてつつある。
コーディネーターの主な活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>①ニーズの調査(6H)</li> <li>②体制整備のための調整(111H)</li> <li>③人材育成のための調整(50H)※「多文化共生の地域づくり講座」44Hを含む</li> <li>④日本語教室開設及び運営のための調整(77H)</li> <li>⑤教材作成に向けた調整(2H)※日本語教室のための教材準備は含まない</li> <li>⑥その他(109H)</li> </ul> (具体的な内容: 多文化共生のまちづくりイベントのための調整、おしゃべりカフェの開催等)
アドバイザーの主な助言	28年度に「在住外国人に対する日本語教育」(西原SA)、29年度に「やさしい日本語」(松岡A)、30年度に「地域日本語教育スタートアップ事業」(西原SA)について講演会をもった。どれも事業に有効なお話だった。30年度キックオフ会議における予算取得のための様々な成功事例や助成金の話は、今実際に役立っている。FBやブログへのコメントやメールでの感想意見、質問に対する答え等、いつも早く的確なアドバイスをいただいている。防災ワークショップの開催の大切さについてもアドバイスをいただき、初年度から毎年防災イベントを開催し、年ごとに意味のあるものに進化してきたと自負している。
今後の課題	1 美波多文化共生ネットワーク「ハーモニー」と美波町との連携 事業が終わった後も美波町から「ハーモニー」が委託を受けた形で、日本語教室の運営や多文化共生のまちづくりイベントの開催を継続したい。将来的には、美波町の国際化の推進や「地域の活性化」や「国際協調」につながる次のような様々な事業について協力体制を組みたいと考えている。①ワールドマスターズゲームズ(2021)の開催支援 ②ホームステイ・ホームビジットの受け入れ支援 ③学校などへの国際交流学習の協力(外国人の派遣など) ④在住外国人を支援する生活相談窓口 ⑤外国人観光客の案内(ガイド会への協力) ⑥外国人対象「体験型日本語学習短期プログラム」の計画・実施 ⑦美波町の魅力を世界へネット発信(観光課への協力) ⑧広報活動・啓発活動など。 2 美波多文化共生ネットワーク「ハーモニー」の財政基盤に関すること 平成31年度の活動資金については、予算の確定に向けて、役場の総務企画課で予算要望を検討してくれることになっている。同時に、先の1月には、宝くじの地域創生「がんばる地域」への助成金に応募申請を行っており、現在審査待ちである。さらに、県の国際交流協会や徳島大学とも補助金を獲得するための手立てについて検討をしているところである。どれも確実でないことが目下の課題といえる。コーディネーターとしては、謝金ゼロで今までと同様の仕事を続けるのは正直辛いものがあり悩みどころである。 3 サポーターの養成 幸いなことに活動に興味を持ってくれる地域の人との出会いがあり、日本語ボランティアは増える傾向にあり、現在17名のハーモニー会員を有する。そのうち日本語教室でのサポーターはコーディネーターを含め常時5名が可能。ハーモニーの中で、日本語教室系と多文化共生のイベント系に分かれつつあり、そこでどのような養成講座を考えていべきかが課題である。日本語教育の研修に会員を誘い参加するようにはしているが、計画的な勉強会のようなものが必要かもしれない。 4 「ハーモニー」の活動のマナー化、メンバーの士気の低下 事業が終わった安心感が引き起こすであろう士気の低下を心配している。ソフトランディングのあと、平坦なコースをマイペースで倦まず弛まず走り続けることが課題である。日本語教室なりイベントなり、1回1回の作られた場が「楽しくてまたやりたい」ものであることが大事であると思う。意味のある場づくりをめざすことで、メンバーと共にマナー化を乗り越えたい。
今後の予定	3年間のスタートアップ事業のもとで、空白地域であった美波町に日本語教室ができ、様々な多文化共生をめざすイベントが行われるようになった。ハーモニーを基盤にして、今の状況を維持していきたい。詳しく言うと、①日本語教室の開催(週1回) ②おしゃべりカフェの開催(隔週) ③ハーモニーの定例会(月1回) ④多文化共生をめざすイベント開催(年5回)(4月桜&古民家ツアー、7月うめがめ祭りイベント、10月秋祭り町歩きイベント、11月日和佐にこにこ人権フェスティバルへの出展、1月防災ワークショップin美波) ⑤徳大多文化共生のまちづくり講座への参加(つるぎ町との連携) ⑥上記課題で取り上げた様々な可能性に挑戦すること 等々。いずれにしても、これまで培ってきた美波町内、海部郡内、徳島県内における連携を大切にして、有効に使いながら「ハーモニー」を核にした活動を続けていきたいと考えている。

本件担当 : 美波町役場政策推進課 事務主任 川西 永悦